

「玉島での大ぼうけん」

作



宝島の大ぼけん



りんじ



リコ子



この二人が
まさかの
VS?!

頭が良くて立派な
会長、力もじし
いんじエリ強
い?!

力もじ
も強い けんじ
(けんじにいとけんじする)
でもまだちゆい
福会長

たから島のぼうけん

真木みのある日けんじとりよう子が歩いて
いるて男の人か歩いてきました。その男の人
は何かを落したまま行こしました。そ
れはたたから島の地図でした。けんじは、
「行てみようよ」と、言ひたのでりよ
う子は食りよつを、いは船を作りました。
嵐もなく、ふじ島につんきました。

二人が歩いているとしげみから吉が聞こえ
てきました。そつと見てみるとどうがえもの
を食べていました。とらも二トがいることに
気がついてしげみから出てきました。すると
「次はうまえうな子びもだ。」

と、言い、したをへ口りとなめました。すると、
ニひき目も出てきました。すると、とつぜん
一ひきがりょうう子にあそいかかりました。
りう子は、これも。

と言つて、つるをわたしました。りょう子が、
すばやく身をかわすと、はすしたとうは、転
びました。そこに日ぬひは、足につるをまき
ました。それにおむろいたのか、ニヒキ日の
とうは、にげていきました。
とらをおいはらつてつかれた二人は、木木
のえだの上で一休みしました。そのしんか
ん　ん
ドーナツ

といふ音がしたと思ったと島や動物たちの鳴

き声かします。あわてて声の方に行くと火山
が大きな音をだしながらマグママがひき出して
いました。あわてて大きな山の間に身をかく
そうとしましたが一人ずつしが入りません。
けんじは、
「先に行かせろよ!!」
と言いましたが
「わたしが先よ!!」
しりょう子も言いました。けんじは、
「なんだと川

と言ひりょう子をなぐりました。

「や、たわね

とりょう子もけんじの頭や顔をたたきました。
その間にもマグマがながれてきます。それに

けんじは気がついて、

「もうやめよう!!」この間にもようかんはなか
れてくるんだ!!お前に先に行け!!

と言ひりょう子も気がつきなかおりをしま
した。そして宝箱がある所をさかしましました。

おかしいな。ここらへんにあるのにな?

けんじはさよろとまわりを見ました。

「わからわ!!」

「りょう子がいうと大きな山の所に来ました。
そしてじこかに行きたと思つて宝箱を持て
帰ってきました。」

「どこにあつたんだ。」

とけんじがいふと、

「後で。」

とりよう子は言い船に乗りました。帰り道で

りょう子は、

「さ、き山の門を通った時、ドアが見えたの。
だからそこかなし思って。

「でもマクマードアがうもれたんじやないか。
えうだ、たの。ひ、して出口を見つけよう。
としたら光がさしこんだから、行、てみる
出口だ、たわけ。

「りょう子が言いました。けんじも、
と言ひ、な、とくしました。

「なるほど。
こうして宝箱はぶりでしたか、火山のふんか

で、島はしづんでい、てしましました。でも
島の動物が泳いできたので、みんな船に乗せ
て帰りました。ですが動物たちが、
「このことは、だれにも話さないでください。
と言ったので、このことはだれにも言いません
と申しました。そして二人は大金持ちにな、たし
いうことです。

さんは、すごく
けんかがちをえら
んだけど、さりげなく
くわにのじつをつけて
いました。

おもしろい
おはなし
だうだね。



こうしのように
けんかりょう子は
けんかの場面
がすごいことに
なっていました
ね。

ちが
んすいもいろ
いいし、あがむな
い道をとめた
ね。続うまいよ。